



西小だより〈校長室から〉

R6.6.24 No. 2

暑さ対策

暑い日々が続いています。子どもたちには、すでに熱中症対策として水筒をもってくると、こまめに水分をとることを指導しております。

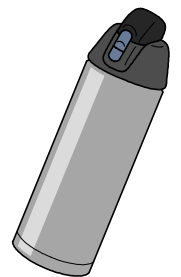
しかし、持ってくるのを忘れたり、小さい水筒ですぐに中身が無くなってしまったりする子どももたくさんいます。昨年度までもお知らせしておりましたが、改めて以下のことをお願いいたします。

○必ず大きめの水筒でお茶を持たせてください。いつもの水筒だけでは足りない場合は、2本持たせていただいても結構です。友だちにお茶をもらったり、あげたりはできません。

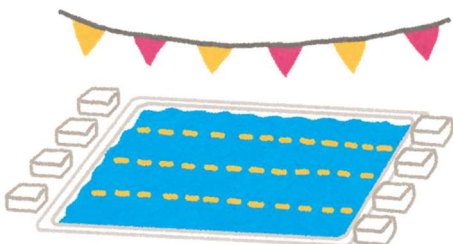
○汗ふき用のタオルを持たせてください。ハンカチは手洗い後に使用するので、別の物をご準備ください。

○冷感タオルなど（日傘を含む）の使用については、以下のルールを守って使用可能とします。

- ① 必ず名前を書くこと
- ② 自分で管理ができること
- ③ 学習の妨げにならないものを準備すること



○スポーツドリンクについては、糖分の取り過ぎなど懸念されることもあります。基本はお茶を持たせていただき、必要と判断されれば補助的に持たせていただいても結構です。



水泳指導が始まって熱中症には注意が必要です。水に入っているから、熱中症や、脱水症状など大丈夫と思いがちですが、実は、水の中でも汗をかいています。プールサイドにいるときにも、たくさん汗をかきます。必ずご準備をお願いします。

キャリア教育

「キャリア教育」って実際に何をするの？仕事につくための教育？小学生も必要？という声を聞いたことがあります。『一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育』がキャリア教育です。

小学校で大切なことは、必要な基盤となる能力や態度を育てることです。

低学年であれば、

- ・あいさつや返事をする
- ・ありがとう ごめんなさいを言う
- ・自分の考えをみんなの前で話す
- ・してよいことと悪いことがあることがわかる
- ・係や当番活動に取り組み、その大切さがわかる
- ・作業の準備・片付け 時間を守る
- ・わからないことがあったら自分から質問する など

中学年であれば、

- ・自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する
- ・友達の気持ちや考えを理解しようとする
- ・係や当番活動に積極的に関わる
- ・互いの役割や分担の必要性がわかる
- ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする
- ・将来の夢や希望を持つ
- ・計画づくりの必要性に気づき、作業の手順がわかる など

高学年になると、

- ・自分の思いや考えを、場に応じた態度で適切につたえることができる。
- ・規範意識をもち、社会におけるルールや相手との約束を守るなど信頼される行動をとろうとする
- ・自分の役割の必要性を理解し、責任をもって役割を果たそうとする
- ・自分に必要な情報を収集して解決しようとする など

特別な学習や教育ではなく、今学校で学んでいること、様々な経験をしていることが、子どもたちの将来に必要不可欠であるということです。

実際の「社会的・職業的自立」は、まだまだ先のことと思われるかもしれませんが、子どもたちにとって、今の生活がいかに大切かという意識を私たち大人がもたなくてはならないと思っています。

